



韓国で口蹄疫が発生！

今一度、発生予防を徹底しましょう！

家畜衛生情報
R5-3 R5.5.11

韓国では、2023年5月に4年ぶりに口蹄疫の発生が確認されました。現在、我が国へ侵入するリスクが極めて高い状況が続いています。

過去の日本での発生をみると
まず韓国で発生しています！



2000年 → 2000年

2002年

2010年
↓
2011年 → 2010年

2014年
↓
現在 →

侵入する可能性
は非常に高い！！

韓国における口蹄疫の状況 (2023年5月以降)

2023年5月11日16時時点

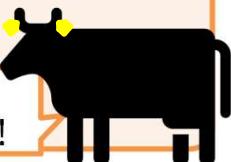


牛農家の皆様へ 発生予防の徹底をお願いします！

- 農場の出入口に看板を設置するなどにより、**関係者以外の立入を制限**しましょう。
- 農場の出入り時は、**専用の靴・衣服を着用し、手指を消毒**するとともに、持ち込む**物品や出入りする車両の消毒を徹底**しましょう。
- 畜舎の出入口に**専用の靴の着用や踏込消毒槽等を設置**することにより、出入りする人の**靴底の消毒を徹底**しましょう。
- 従業員の方も含め、**口蹄疫が発生している国への渡航は可能な限り控える**とともに、これら国の**農場からの郵便物等は衛生管理区域に持ち込まない**ようになります。
- 毎日、飼養家畜の**健康観察**を行い、**疑わしい症状があれば直ぐに通報**しましょう。



裏面も
チェック！



専用の衣服・靴等の着用や効果的な消毒を実施しましょう！

・衛生管理区域に立ち入る場合には、専用の靴や衣服を着用し、手指消毒を実施しましょう。



専用の服や靴の使用、手指消毒

・畜舎ごとに専用の靴または踏込消毒を設置し、使用しましょう。



推奨される踏込消毒槽の設置方法

◎効果的な消毒のポイント

・踏込消毒槽の消毒液は、汚れで効果が薄れるので、まずは汚れを落としてから消毒しましょう。また、消毒薬が汚れていたら、直ちに交換しましょう。

汚れをしっかり落としてから消毒!

・農場に出入りする車両を消毒する時は、タイヤのみを消毒するのではなく、泥よけの内側部分まで消毒し、衛生管理区域内で降車する場合は農場専用のフロアマット等の使用や車内（ハンドルやドアノブ等）の消毒を実施しましょう。



車両はタイヤだけでなく、泥よけの内側まで消毒し、フロアマットの交換やペダル等車内も消毒

★消毒薬は塩素系消毒薬・アルデヒド系消毒薬、ヨウ素系消毒薬などが有効です。

逆性石けんやアルコールは口蹄疫の消毒薬としては不適です！

★消毒効果が弱まるので、酸性とアルカリ性の消毒薬を同時に使用しないこと！

疑わしい症状は直ちに通報を！

口蹄疫は牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、泡状のよだれを流したり、口、鼻、ひづめ、乳房に水疱（水ぶくれ）ができるのが特徴です。
～牛の症状～



写真：宮崎県提供



上顎口唇潰瘍



水疱が破れている

写真：動物衛生研究部門提供

毎日必ず健康観察し、これらの症状を見つけ次第、直ちに獣医師や最寄りの家畜保健衛生所に連絡しましょう。



牛では、1頭のみに着目せず、泡状のよだれを多く流している個体が多い、上記の症状が急速に拡がるなど、群としての異状の有無を確認することが重要です。